

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度 第2回公民館運営審議会
開 催 日 時	平成26年11月25日(火) 午前10時～11時45分
開 催 場 所	生涯学習推進センター 301会議室
出 席 者 の 氏 名	山本直子、北田耕一、中村龍太郎、内野幸雄、内田喜久男、越阪部芳加、三原由紀子、本橋賢一、梁瀬正明、山崎修央、小笠原幹郎、佐藤一子、倉持伸江
欠 席 者 の 氏 名	北田有司、藤野邦夫
説明者の職・氏名	教育長・内藤隆行、教育総務部長・平野澄彦、教育総務部次長・美甘寿規、中央公民館長・神谷明、小手指公民館長・島崎敬一、富岡公民館長・新井佳子、松井公民館長・須田静男、新所沢公民館長・倉富恵理子、山口公民館長・田中政美、新所沢東公民館長・木村立彦、並木公民館長・吉田上
議 題	(1) 公民館運営について ・ 公民館担当職員の月曜勤務について ・ 公民館ホール特例申請の期間について (2) 公民館事業について ・ 新たに公民館活動に関わる人を増やす取り組み
会 議 資 料	
担 当 部 課 名	教育総務部社会教育課 浅野浩一課長、原初恵主査、粕谷紀夫主査 電話 04(2998)9242

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長	<p>1 開会</p> <p>社会教育課長の司会により開会した。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>お忙しい中をお集まりくださいます、誠にありがとうございます。お陰様で各地区の文化祭・体育祭が、皆様の協力をもって順調に開催されました。現在、市内では文化団体連合会の所沢市文化祭が開催され、昨日は子どもルネサンス実行委員会による子ども音楽祭が開催されました。子どもの音楽活動としては、市内に新たに少年少女合唱団が結成されまして、皆様の盛んな文化活動に感謝しています。</p> <p>公民館はまちづくりセンターの一員になって、すでに4年近く経ちます。いろいろな試行錯誤の中で、各地区に応じた取り組みが進んでいると理解しています。今年度から、まちづくりセンター長が公民館長を兼ねるということで、まちづくりセンターの中で、公民館の様々な課題を統一的に捉えて進めているところです。</p> <p>そうした中で、教育委員会としましては、「生涯学習」というものは、単に中高年の方々の余暇活動ではなくて、子ども達のたくましく生き抜く力を培い、生涯にわたる学習の基礎を培っていくという考え方をしています。</p> <p>「翔びたつひろば」に昨年10月から1面で「学校訪問」という記事を掲載しています。市内小・中学校の取り組みを紹介しています。</p> <p>生涯学習情報紙に学校の取り組みを掲載する意図は、生涯学習は子ども達の基礎・基本の段階に関わっていることと、地域の方々の良識ある活動を学校支援に生かしていただきたいと考えているためです。11月号の広報紙には「学び創造プラン」を掲載しました。子ども達の生きる力、たくましく生き抜く力を培っていくためには、確かな学力を身に付けていく必要があります。</p> <p>ここでいう「学力」とは、知識やテストで評価されるものだけではなく、人間的に成長する力をいいます。また、子ども達の主体性・自立性を育ていきたい。そうした観点で、生きる力、たくましく生き抜く力を考えています。</p> <p>現在、改めて問題となっていることは、子ども達の生活習慣の乱れです。やはりきちんとした生活を送ることが必要だと思っています。</p> <p>地域の様々な社会教育・生涯学習活動が、子ども達の育みに今改めて必要であると感じています。まちづくりセンター・公民館の果たす役割は、非常に重要なものなのです。</p>

<p>司会</p> <p>委員長</p>	<p>限られた時間ではありますが、公民館職員の勤務の状況であるとか、公民館ホールの申請等について大所・高所から忌憚のないご意見をお願いいたします。</p> <p>それでは、続きまして、所沢市公民館運営審議会の内野委員長からあいさつをお願いします。</p> <p>皆様には大変お忙しい中、お集まりくださいますありがとうございます。</p> <p>さて、10月16日・17日に熊谷市で第36回全国公民館研究集会が開催され、当審議会から何人かの委員さんに出席していただきました。この記念講演に作家の森村誠一さんが「人生の証明～実りある人生の実りとは～」というテーマで、ユーモアを交えて話をしてくださいました。</p> <p>部長など立派な役職で定年を迎えても、地域に戻れば役職は関係なく「横一線」で地域の人達と仲良くなり、かつ行動範囲を広げていくためには「しっぽを切らなくてはならない。」という言葉が印象に残りました。</p> <p>それでは、本日2つの議題のご審議をお願いします。</p> <p>(事務局が配付資料を確認した)</p>
<p>委員長</p>	<p>3 議事</p> <p>(1) 公民館運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館担当職員の月曜勤務について <p>それでは、本日は「公民館の運営について」と「公民館の事業について」2つあります。</p> <p>今までは、皆さんからご意見をいただき、それを各地区に持ち帰ってもらい生かしていただくという流れでしたが、本日は皆さんからご意見を伺い、公民館運営審議会として意見をまとめていこうと考えています。</p>
<p>事務局</p>	<p>はじめに、議事(1)「公民館の運営について」の公民館担当職員の月曜勤務について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>平成16年度から、月曜日午後5時までですが開館しています。まちづくりセンターになって、コミュニティ担当が公民館担当同様に土・日曜日も勤務になりました。</p> <p>しかしながら、各種団体は以前からの流れで土・日曜日以外にも来館するため、月曜日に対応できないという館があります。また、日曜日の利用より月曜日の利用が増えたため、月曜日は職員で対応したいという館があります。</p> <p>こうしたことから、公民館担当職員の勤務シフトを月曜日休みから日曜日休みに変更することを検討し、一部の館で来年度に試行したいとのことです。</p> <p>この休みの変更については、長年、公民館の日曜日開館に、職員が勤務し運</p>

	<p>営してきましたので、今後も土・日曜日のサービスを低下させることなく維持していくことを基本としています。</p> <p>ただ公民館により、今までどおり日曜日に職員が勤務するところもあるため、サービスに地域差が出てしまうため、このことについて意見ををお願いします。</p>
委員長	<p>ただいま、本日の議事(1)の1つ目についてご説明いただきました。</p> <p>皆さんのご意見ををお願いします。</p>
委員	<p>日曜日に職員が休むということですが、新所沢東公民館では土・日曜日に行事が多いと思います。</p> <p>民間企業では実施していることですが、4週のうち何日休むということで行えば、必ずしも全職員が月曜日に休む必要がなくなると思います。公民館によっても事情が違いますが、こうすれば実情に近い勤務体制にできると考えています。</p>
委員長	<p>事務局に確認したいのですが、勤務体制はセンター長の権限で決められますか。</p>
課長	<p>公民館の開館日でいえば、祝日以外は日曜日も月曜日も開館しています。開館する中で、来年度から一部の公民館で日曜日に正規職員がいない館をつくるということです。これが今回の試行です。</p>
委員	<p>利用者からすると、正規職員がいないことで利用者が困る状態になってはいけなと思います。イベントは土・日曜日に多いので、正規職員しかできない機械操作などが必要であれば、正規職員の休みを分散する必要があります。または、今は正規職員しかできない機械操作でも管理委託業者ができるようにするなど、利用者が困らない体制にしてもらえれば良いと思います。</p>
課長	<p>現在、月曜日に正規職員は勤務していません。そのため、シルバー人材センターに管理委託をしています。日曜日は正規職員がローテーションで1名勤務しています。来年度に正規職員の日曜日休みを試行する館は、日曜日に管理委託をし、日曜日に正規職員を置かないこととなります。その代わりに月曜日に正規職員が勤務することとなります。</p> <p>委員さんがおっしゃった日曜日にイベントが多いのではないかとのご指摘ですが、そうした状況がある館については、正規職員の日曜日休みの試行はしないで、引き続き日曜日に正規職員が勤務する体制をとります。</p> <p>それでは、試行する館、試行しない館の館長から、それぞれ試行理由、試行しない理由の説明をお願いします。</p>
委員長 館長	<p>どなたか館長いかがですか。</p> <p>私の館では試行はしません。理由としては、日曜日にホールでサークルの発表会が多いためです。ホールの設備が古いために、機械操作が複雑です。機械</p>

<p>委員長 館長</p>	<p>操作に熟知した正規職員がいないと、発表会で混乱が予想されます。ホールを広い部屋として利用される方も多く、利用者のことを考えた場合、現状どおり日曜日に正規職員の勤務が必要と考えます。</p> <p>日曜日休みを試行しない説明でした。試行する館長さんいかがですか。</p> <p>日曜日休みを試行したいと考えています。理由の1つには、私の館にはホールがない特殊性があります。ホールがないために、月曜日と日曜日と比較すると、月曜日の利用者が圧倒的に多いことが挙げられます。また貸出部屋の落選率を比較しても日曜日よりも月曜日の方が高くなっています。</p> <p>現状では、月曜日に窓口申請があった場合でも対応することができないため、新所沢東地区では月曜日勤務の方がいいと考えています。</p> <p>ところで、現在、私は人間地区公民館連絡協議会の会長をしています。組織している人間地区13市町に勤務体制の調査をしたところ、ほとんどの市町では月曜日に正規職員が勤務し、土・日曜日に休みを取っています。所沢市は月曜日に勤務している正規職員がいらないことから、協議会の会議は月曜日を除いた曜日を設定してもらっています。</p> <p>土曜日はこれまでどおり正規職員は勤務しますので、日曜日休みの試行をしたいと考えています。</p>
<p>課長</p>	<p>平成27年度に試行する館、試行しない館についてですが、試行する館は新所沢東、並木、小手指本館、三ヶ島、富岡、柳瀬の6館です。試行しない館は中央、新所沢、山口、吾妻、小手指分館、松井の6館です。</p>
<p>館長</p>	<p>同じまちづくりセンターという組織の中で、職員の勤務体制が異なっていることが、これまでの懸案であり、解消したい問題でした。</p> <p>並木では日曜日の利用は少ない状況であり、正規職員の休みが月曜日から日曜日に変更しても、問題ないと考えています。正規職員の休みの変更により、地域行事の支援に影響が出てはいけませんので、これまでどおり支援させていただきます。その場合には、日曜日に出勤した分を月曜日などに振替し対応します。なお、月曜日に職員の勤務体制を厚くすることによって、場合によっては新たな事業を入れることが可能であると考えています。</p>
<p>館長</p>	<p>新所沢は新しい施設で、規模も大きく、また駅からも近いので、曜日に関係なく中央と並ぶ利用率があります。新所沢は特に大きなホールではありませんが、立地条件から利用者が多くいます。土・日曜日はイベントが多いために、ホール設備の操作が必要な場合が多くあります。</p> <p>このため、新所沢としては、現在の正規職員の勤務体制の方がいいと考えています。ただし、公民館には地域性があるため、それぞれの館の利用の仕方があると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>いろいろなご意見をいただきましたが公民館運営審議会として意見をまと</p>

委員	<p>めたいと思います。半数の館で、正規職員の勤務が基本的に月曜日になり、日曜日は休みとする試行を行なうと、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>反対ではありませんが、1点だけ意見があります。公民館長から意見がありましたように、公民館には地域性があります。利用者のことを考えられて、試行する館としない館が半々になったと思います。おそらくは利用者の活動そのものが出来ているのであれば、日曜日に職員がいなくなったことを敏感に感じられる方は少ないと思います。</p> <p>しかしながら、試行される館は、こういうことで正規職員の勤務体制を変えましたと、きちんと利用者に説明できるようにしてほしい。正規職員の勤務体制を整えるために、勤務日を日曜日から月曜日に変更しますとされてしまうと、利用者には理解されないと思います。</p>
委員	<p>試行のあとはどうするのでしょうか。全面的に実施するのか、ニーズに合わせて実施するのか、試行の先はどうするのかが、分かりません。</p> <p>ニーズに合わせて試行することはいいのですが、そのあと短期間で一気に一方向に決めてしまうのは、地域が混乱するのではないかと考えます。</p> <p>また、管理委託先が、公民館の正規職員と同じことができるように「ティーチングシステム」があるのであれば、日曜日でも月曜日でも、誰がローテーションに入っても対応が可能になるのではないのでしょうか。</p> <p>そうしたビジョンがあるのであれば、この案に賛成したいと思います。この確認をするとともに、これを議事録として残して、次の会議の資料にしてもらいたい。</p>
課長	<p>委員への回答になるかは分かりませんが、この審議会を開催する前にこの正規職員の勤務体制について、公民館長会議を行いました。</p> <p>試行期間については、基本的に1年間と考えています。</p> <p>たとえば、先ほどの並木の話で日曜日にイベントがあれば、正規職員が出勤するとありました。実際に試行してみて、日曜日のイベントが多く月曜日よりも日曜日の出勤が多いのであれば、今までの勤務体制が相応しいとなるかもしれません。</p> <p>また、試行の検証を1年後とするのではなく、半年後に次年度に向けた検証を行うという議論がありました。たとえば、モニタリングなどの検証方法をどう作成するかなどは今後の課題ですが、試行後、半年で報告することになると考えています。そこで審議会のご意見をいただければと思います。</p>
委員長	<p>それでは、公民館運営審議会として承認するというところでよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(同意)</p>
委員長	<p>ただし、利用者に対してのサービスは低下することなく維持し、試行により</p>

事務局	<p>どんな課題があるかということを確認にして、後日報告してもらおうということになると思います。</p> <p>それでは、議題(1)の2つ目の「公民館ホール特例申請の期間について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>新所沢東公民館を除く公民館にホールがあります。中央公民館の特例申請期間は6ヶ月前の初日からですが、他の公民館10館のホール特例申請は、現行では「3ヶ月前から」となっています。</p> <p>その「3ヶ月前から」を拡大できないか、との質問があったことから現場の声を確認したところ、一部では4ヶ月前とか6ヶ月前に変更することが可能との声がありました。</p> <p>しかしながら、あまり早くから予約を受けてしまうと、肝心の公民館主催事業や地域の事業の予定が入れられなくなってしまうとの声も聞いています。このことについてご意見をお願いします。</p>
委員長	<p>ただいま、本日の議題(1)の2つ目の「公民館ホール特例申請の期間について」についてご説明いただきました。</p>
委員	<p>皆さんのご意見をお願いします。</p>
委員	<p>基本的には、現行のままでいいと考えます。申請期間を拡大していきますと、地域事業に影響してくるため、従来どおりの3ヶ月前からでいいと思います。</p>
委員	<p>申請期間を早くしたいという事業内容について、公民館で吟味していただかないと、我々には内容が分かりませんので、意見できません。</p>
課長	<p>市議会でホールの申請期間の「3ヶ月前から」を少し長くしてほしいとの発言がありました。たとえば、所沢市民文化センター・ミュージズの場合には1年前から予約ができます。一方、公民館を会場にした大きな催しに著名な講師を呼ぶ場合に、3ヶ月前になってやっと会場が決まるのでは、集客や講師依頼が成り立たないということが、一般質問の趣旨だったと思います。</p> <p>しかしながら、そのことと委員からの発言がありましたように、地域行事との兼ね合いがあると思います。</p> <p>館長会議でも、申請期間を長くした場合に、地域行事との兼ね合いをどう勘案するのかを話し合いました。もちろん申請期間を長くすることは地域の判断であるという面があるのですが、各ホールの規模も異なりますし、ホール利用を優先させていくということもあるかと思います。こうしたことを議論していただきたいと思います。</p>
委員長	<p>直接、現場の声を聞いて見たいと考えますが、館長さん、どのような状況でしょうか。どなたかお願いします。</p>
館長	<p>新所沢はホール利用者が多いため、3ヶ月前のホール予約で抽選の場合があります。この場合には、サークルの発表会よりも地域の行事を優先させてもら</p>

館長	<p>っています。ホールの利用申請が4ヶ月前からになった場合、さらに地域行事を早めに決めなくてはならないため、また発表の場としての利用のほかに、部屋として多目的に使われることも考えますと、現状どおり3ヶ月前からの申請でお願いしたいと考えています。</p> <p>山口は駐車場が狭いため、多くの利用者は自転車で来館し、大規模な催しができにくい環境にあります。今まで3ヶ月前からのホール申請で利用者から苦情をいただいたことはありません。ホール申請で利用者が競合することは、年1回位しかありません。ただし、この場合でも話し合いで決めてもらっています。</p> <p>以上の点から、現状どおり3ヶ月前からのホール申請でお願いしたいと考えています。</p>
委員長 課長	<p>事務局でまとめた資料などありますか。</p> <p>以前に確認したところ、ホール申請ができる3ヶ月の準備期間以上に、もっと申請期間を延ばしてもらいたいという要望を受けたことは、ほぼすべての館でないとのこと。そのことを踏まえて現状どおりの申請期間でいいと、こちらでは考えています。</p>
委員長	<p>実際に、この特例申請で公民館ホールを使ったことのある委員さんはいませんか。</p>
委員一同	<p>(なし)</p>
委員長	<p>いろいろなご意見をいただきましたが、公民館運営審議会として意見をまとめたいと思います。事務局の発言にもありましたが、公民館ホールの特例申請は、現行のまま3ヶ月前からを維持していくことが望ましいということによろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(同意)</p>
委員長	<p>それでは、議事(2)「公民館事業について」の「新たに公民館活動に関わる人を増やす取り組み」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>前回の会議で「集う」というキーワードが出されました。公民館活動ということ踏まえて、新たに公民館に人が集い、公民館活動に関わる人をどうやったら増やせるのか。増やすための事業について、どんな方向性を定めたらいいか、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>今月の広報ところざわに、学びの創造を目指して「学び創造プラン」について掲載がありました。これまでも当審議会が議題にしてきた「学校・家庭・地域」の連携について、学力向上の視点で書いてあります。</p> <p>公民館は、これまで「学校・家庭・地域」の調整役として取り組んできました、当審議会もこの三者の重要性について議論してきました。</p>

<p>委員長</p>	<p>この記事も参考にしながら、将来につなげられる議論をしていただき、今後の公民館に示す形でまとめていただきたいと思いますので、よろしく願います。</p> <p>新たに公民館活動に関わる人たちをどう増やすかですが、どんなことに重点を置いたらいいのかなど、意見がありましたら願います。</p>
<p>委員</p>	<p>まずは「基本的な方向性」について話したいと思います。いかがでしょうか「公民館活動に関わる人」の 카테고리をはっきりさせてほしいと思います。スタッフ側の人なのか、講師なのか、公民館活動をしていく中で関わる人なのか、「公民館活動に関わる人」のイメージは何か教えてください。</p>
<p>課長</p>	<p>「公民館活動に関わる人」は、様々な人であると思います。そもそも戦後公民館ができたときの発想は、地域の住民をもって組織するとしており、地域の住民全員が「公民館活動に関わる人」でありました。</p> <p>現在、公民館活動は趣味の活動を中心として行われていると思われていますが、そうではありません。</p> <p>地域の住民が、公民館で地区の課題を学び、解決していく活動こそが、公民館活動であると思います。そう考えていきますと、地域の住民一人ひとりが活動者として、地域のことを考える人になっていただくためにどうしたらいいか、どういう人が地域のコーディネーターやリーダー的な存在になっていただけるのか、そこが、今回の大きな一つの論点であると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>また、公民館でサークル活動をしている人が、もう一步どう地域に関わっていく人になっていただけるのか、これも論点になってくるかと思えます。</p> <p>基本的には、「公民館活動に関わる人」は多い方がいいと思っています。ただし、予算の面が問題になりますが、お金ではなく地域のために役立ちたいと考えている人は意外と多いと感じています。交通費などの実費は負担をしてもいい、地域のために役立ちたいと考えている人を発掘できるシステムが必要です。</p> <p>地域のために役立ちたいと考えている人、働ける人を公募すればいいと思います。発信力を持たないと、「公民館活動に関わる人」を増やすことができないと思います。広報を発行するなど、こうしたことが大事であると思います。</p> <p>具体的に発信の仕組みを4～5つ挙げて、それを公民館運営審議会で議論していく、そういうことが必要ではないかと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>配付資料にあります「所沢市市民意識調査」で「地域活動への協力意向」の質問に対して、30・40歳代の半数以上が「どちらかといえば協力したい」と答えています。地域特性もあると思いますが、この人たちが具体的にどのようなことで協力したいのか、アンケート調査ができればいいと思います。</p> <p>これらの情報を収集して、そこから何ができるのかを考えて、人材を確保し</p>

委員	<p>ていけば地域のために役立てると思います。</p> <p>中央地区では、14町内の地区公民館長の会議を毎月1回開催しています。地区公民館の活動は、各町内の館長の人脈によって、活発化している公民館もあれば、していない公民館もあると感じます。</p> <p>活発化している公民館は、たとえば学校の先生を務めていた方であったり、民間企業に務めていた方が退職されて、今までの自分の経験から積極的に人脈を生かしたアイデアを出してくれたり協力してくれています。</p> <p>また、会議を定期的で開催することでお互い刺激になり、結果として活性化につながっているようです。</p> <p>他には、現在PTA役員の成り手がいないと感じています。昔のPTA役員は、3～4年役員を務めてくれましたが、現在では1年間で役員を辞めてしまいます。次の年には全く役員が変わってしまうため、町内会とコミュニケーションが取れず、つながりができにくいと感じています。</p>
委員	<p>40代・50代が多いと感じますが、公民館を一番利用している年代層はどのくらいですか。</p>
課長 館長	<p>利用者の年代別の調査はしていません。</p> <p>地域性があると思いますが、新所沢は子育て世代が多いと感じています。公民館には、30代のお母さんたちが、子どもが幼稚園に行っている間に集っています。他の年代では、60代以上の方が多く感じています。一方、働いている40代・50代は少ないと感じています。</p>
課長	<p>公民館利用者としては、館長から話があったように60代以降の方が多く思います。しかしながら、公民館事業としては、「平成25年度公民館事業報告集」にありますように、全部で325事業あるうち、青少年事業が50事業、親子事業が43事業を占めています。</p> <p>このように公民館では、多くの子ども対象事業を企画することにより、公民館に子どもたちや若い世代に来ていただきたいという取り組みを行っています。ただし、平日昼間の開催では働いている方には参加しにくいかもしれません。</p> <p>これまでも所沢の公民館は、子育て事業に力を入れてきましたが、どうやって新しい方に参加してもらえるか、ここを課題とするのか。それとも既存のPTA活動や子ども会活動を活発化していくために、公民館がどういう取り組みができるのか、できないのか、その辺りが課題であると感じます。</p>
委員長	<p>新しく公民館に興味を持ってくれる人を呼び込むためのアイデアなどいかがでしょうか。</p>
委員	<p>次の議論では、公民館活動に携わる人を増やす試みについて、どう具現化していくのかを話し合っていきたい。</p>

	<p>大枠だけの提案ですが、地域にどういうことをできる人がいるのかのリストを作成して、そのリストから公民館活動に携わるをお願いをする仕組みはいかがでしょうか。「公民館活動に携わる人を増やすこと」についての次の一手をどうするのかという私の提案は例ですが、他にもっといい提案など、そちらに時間を割いていただきたい。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>地域情報を収集することは、なかなか難しい問題であると思いますが、今の話はどんな人脈をもっている、いないかの話ではありません。地域で、協力できる活動分野を持っているか、いないかをアンケート調査を行えばリストはできます。</p>
<p>委員</p>	<p>人脈を持っていない人でも、人脈を持っている人と同じように活動ができるかが重要なことです。地域に協力できる分野がある人のリストを作成することにより、人脈の有無に関係なく、公民館全体として公民館活動に携わる人を増やすことができると思うので、そういったアイデアを出してもらえればいいと思います。</p>
	<p>一番情報収集で早いと思うことは、公民館職員が公民館活動をしている将棋やダンスサークルなどに、どういう特技を持っているかを世間話の中で聞いてみることです。</p> <p>毎年困っていることは、敬老会などの行事に手品をやってくれたり、尺八を演奏してくれたりする人を探すのが難しいことです。このため、公民館サークルに公民館に協力してくれる人をアンケート調査したら、すぐに情報収集ができるのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>先日の敬老会に、踊りの先生から紹介していただいた幼稚園から小学校3年生までの子ども達に踊りで出演をしてもらいました。あとで親から話を聞くと、踊りの発表の場がなかったので、是非また敬老会で発表したいとの話を聞きました。このように活動している人から情報収集することが、一番手間暇かからないことだと思います。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>情報収集はなかなか難しい問題だと思います。各地区に公民館事業協力会などありますが、その委員に自治会長や学校の先生などが入っていますので、そこで情報収集するのも一つであると思います。</p>
	<p>7月に松井まちづくり推進協議会が発足しまして、そこで役員を公募しました。協力者リストを作るにしても、人材を公募するにしても、ホームページなどで広報ができたらいいと思います。最近では小学生でもスマートフォンを持っている時代ですので、ホームページで情報を出したら、関わってくれる人が増えるのではないかと考えています。</p> <p>また、私の地区では子ども行事が多くあります。子ども行事には親が関わりますので、そこから人材発掘して自治会の役員になってもらった人もいます。</p>

委員	<p>「新たに公民館活動に関わる人」を増やすというよりも、むしろ公民館の活性化についてですが、今の公民館のサークル活動は、民間のカルチャースクールと変わらないと思います。公民館で活動するサークルという以上は、もっと地域との関わりを持ってもらいたいと思います。学校との関わりとか、地域の福祉施設との関わりとか、いろいろな関わりがあると思います。今のサークルは、閉鎖的で、自己完結型なので、もっと地域にオープンにして、地域との関わりがあることをアピールしてもらいたい。そうすれば、サークルに関わる人が増えてくると思います。</p>
委員	<p>先日、公民館で事業等運営委員会が開催されて、文化祭の反省会を行いました。その中で、新たなサークルが入ってきているものの、高齢化によって展示の数が減っているという話がありました。</p> <p>また、三ヶ島地区の「財産」にはどういうものがあるかという話をしました。三ヶ島地区には所沢商業高校あり、コンサートで連携事業をしています。しかしながら、人が集まる早稲田大学、芸術総合高校が三ヶ島まちづくり推進協議会に入っていないことに気づき、もしも両校との連携事業があったら、たくさんの方が集まるのではないかという話になりました。</p> <p>地域にこういう「財産」があると住民が知れば、公民館に人が集まってくるのではないかと事業等運営委員会で話が出ました。</p>
委員長 委員	<p>倉持先生、今までの発言をお聞きいただいて、何かお話しただけですか。</p> <p>今までのお話をお聞きしまして、地域の人材を発掘して「見える化」することで、誰でもアクセスできるようにすることが大事であり、また地域のニーズを引き出して、地域の方が持っている能力をアンケート調査などで情報収集するという話がありました。</p> <p>ただし、これらの話は、つなぐ人と仕掛ける人の両者の連携が必要になります。そうでないと、社会教育で人材リストを作成している自治体は多くありますが、あまり活用されないとの話を聞いています。</p> <p>人材を見つけ出すことと、つなぐことを公民館職員が行ったり、地域の顔役の人が行ったり、それぞれ地域の特性があるかと思います。ここを上手くつなげる仕組みにしていけば、もう少し地域でつながっていくと思います。</p> <p>関わる人を増やすためには、いくつかの方法があります。1つ目は、現在公民館活動しているサークルの人達に、自分達が楽しむための活動から、地域活動に目を向けてもらうことです。上手く目を向けてもらえれば、地域の力になってもらえると思います。</p> <p>2つ目は、これから地域活動を行いたい人を新規開拓することです。公募で申込まれる方は、もともと意欲や熱意がある人ですのでいいのですが、他の人にとっては、ちょっとハードルが高いと思います。そのため、ワンステップ置</p>

<p>委員長 委員</p>	<p>いて、まず公民館の養成講座などに参加してもらって、仲間を作りながら公民館で活動しつつ、地域の担い手になればと思っています。</p> <p>子どもと親の活動の話がありましたが、私の学校の学生に話を聞いていると、大学生でも地域志向になっています。自分の生まれ場所に愛着心があり、そこで何か貢献したいと思う人が増えています。その学生たちはサークルを作って公民館活動で活動をしていると、公民館職員に頼まれごとをされて、嬉しそうに協力しているそういう動きがあります。また大学は都心に通っていますが、地元で小さな子ども達をサポートする活動に関わっている学生もいます。</p> <p>若い世代を緩やかにつなげていくようなものが公民館にあればいいと思います。あまり堅苦しいつながりだと若い人には厳しいと思います。</p> <p>公民館は敷居が高いので、年に何回かでも緩やかなつながりに関われるようなものが、公民館にあればいいと思います。</p> <p>倉持先生のご意見を聞いて、質問やさらにご意見などありますか。</p> <p>美原町会館で毎週水曜日の午後5時から8時まで、寺子屋みたいな活動を行っています。この活動のきっかけは、毎年夏休みの後半にラジオ体操を行っていますが、そのあとに子ども達の宿題をみていたことから始まりました。</p>
<p>実行委員長</p>	<p>現在、試行的な形で高校の先生に入ってもらって行っています。現在小学校の低学年から中学3年生までの6人になりました。中学生は下の子どもに勉強を教えてください。この活動を町内会で支援していますので、町内会の役員会で毎月報告してもらっています。</p> <p>勉強を教えるだけでなく、あいさつをするなど子ども達に基本的な生活のルールを教えています。本来は公民館で行ってもらってもいいと思うのですが、なかなか公民館で場所が予約できないため、来年度には「寺子屋」という形で、町内会で予算を取って正式に行っていきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>いくつか意見が出されて、議論していただきまして、方向性が見えたと思います。佐藤先生に、本日の議論を整理していただけたらと思いますが、お願いできますか。</p> <p>所沢市の公民館は市民の利用が多く、認知度が高いと思います。そういう意味では、公民館に関わっている人は一定程度いると思います。しかしながら、利用者の年代層の偏りや、サークルの高齢化と自己完結した活動になっていて、なかなか地域との関わりが広がられていません。</p> <p>公民館の日常的な運営や行事にコディネーター、リーダー、お世話役などの形で関わってくれる人を、これからどうやって広げていくのか。今日の会議でいろいろアイデアが出されたと思います。</p> <p>基本的には、利用者の運営協議会やサークルなどで、積極的な気持ちのある「候補者」に声をかけるという人材の掘り起こしの仕組みをつくることです。</p>

これが公民館で意識的、日常的に行われていなければいけません。地味なことかもしれませんが、大事である口コミや人脈などにつながると思います。

そして、そういう人材を意識したときに若い世代へのアプローチとして、子ども行事が大事であるとのこと指摘がありました。子ども行事には、必ず親がついて来ますので、そういう中で公民館との交流的な話し合いを持つなど、信用を増していただいて、ちょっとした公民館のお願いができるという流れをつくり出していくことは、新たな人材の掘り起こしになるとの指摘があったと思います。

見えているようで見えていない地域の「財産」に目を凝らして、公民館が地域の「財産」の情報発信や、地域の「財産」を行事として発展させます。こうしたことにより、まだ十分に公民館で活用できていない地域の「財産」や長年の取り組みを地域の公民館の特性と意識的に結び付けて、公民館を活性化することにより、日常の公民館利用者と異なる公民館に関わる人材の広がりが可能になると思います。

また、サークルも自己完結しているのだけれど、実は公民館も自己完結している部分があると思います。公民館に大学の行事の誘いや若い人たちの地域参加など、日常の公民館利用者と異なる人が参加できる特別な機会をつくることで、公民館に関わる人材が広がっていく可能性があるのではないかと思います。

農村部の公民館は、地域を挙げて地域の魅力をアピールするアートフェスティバルだったり、スポーツの取り組みであったり、いろいろなことをしています。所沢市の公民館は、農村部の公民館とは異なり、各地区の公民館で自己完結できる安定的に利用者がある条件を持っています。これは都市部にある所沢市の公民館特有の悩みであると思います。

そういった所沢市の公民館が、そうした農村部の取り組みに刺激を受けて、手法を取り入れていくのはいいことだと思います。新潟県の農村部で行われているアートフェスティバルは、村全体がアートという野外展示に、東京の芸術家も多く集まって展示して、それを見に観光客がたくさん訪れています。このように、地域連綿の取り組みをしている学習・文化活動はたくさんありますので、所沢市のどこかの公民館が実験的にそうした活動に取り組んでみることや、多くの若い人たちに参加してもらうことは、新規開拓になるのではないかと思います。

たとえば大学では教育方針そのものが体験重視に変化しています。体験と学びをさせようとしていて、その体験の受け皿探しに大学は苦労しています。そうした中で、NPO法人が多くの大学生をインターンシップとして受け入れています。

たとえば、外国人との交流、異文化交流というテーマのインターンシップであったり、所沢でいえば、狭山丘陵などの自然保護、環境の問題でのインターンシップであったり、そういう大学生を研修的に受け入れて、一緒に住民と学習するという展開が増えています。

地元でNPOがあれば、公民館とNPOが一緒になって若者を受け入れていくことも不可能でないと思います。中高年の方が公民館活動の中心になることは、悪いことだとは思いません。しかしながら、せっかく地域に豊かなものがあるのに、若い人たちに地域の「財産」として継承できないことは、残念なことだと思います。幼児や小学生はもちろん、中・高校生・大学生を含めた若い人に一緒に何かできないか、そういう意識を育てるような枠組みを、たとえば地元で面白そうなNPOがあるとか、そうした条件を持った公民館で実験的に一緒に何かをすれば、公民館に関わる人を新規開拓ができるのではないかと思います。

中高年の方は、仕事を辞めても生き甲斐のあることを行いたいと思っています。ハードルの高い研修を受けて、今までやらなかったことを行いたいと思っている方、人と交流してゆったりとした楽しさを追求したいと思っている方、それぞれの人により、「地域への戻り方」が異なってくると思います。

アンケートという話がありましたが、公民館は生の声を聞きながら、是非公民館活動に参加するきっかけづくりを企画していただきたいと思います。そのためにサークルなどの協力を得て、発表会であったり、新人勧誘のフェスティバルであったり、「地域に戻ってくる方」に提供するような企画をサークルの人達と一緒に行ってみたら、一緒に活動してみたいと思う人がいると思います。

それから子どもさんの「寺子屋」の話がありましたが、とても大事な取り組みだと思います。

以前、千葉県野田市の有名な寺子屋を見学したことがあります。この寺子屋は先生が町の人で、毎回変わります。たとえば、豆腐の職人さんであったり、お米屋さんであったり、ボランティアサークルの人であったり、先生が自分自身を語る場になっています。聞き手がとてもたくさん集まっていて、人の人生に学ぶ場にもなっています。

「相互学習」という言葉が社会教育でありましたが、じっくり人の話を聞いて、それを聞き書きにして、本を出すセミプロが生まれてもいいですし、自分が極めてきた職人技を伝承したいという場になってもいいと思います。

「寺子屋」は指導者や世話役などは関係なく、語りたいたいものがある人が自ら語り、それを聞くという場だと思います。マチの人が講師になり合っていく体験交流型の活動であり、新たな方々とつながりができる企画になるのではない

<p>委員長</p>	<p>かと思えます。</p> <p>以上のように皆様のお話を聞きながら感じました。公民館というのはすごく可能性があると思えます。学習・文化を通して、人の生き甲斐を追求できることです。公民館は、地域全員が公民館の持つ豊かな可能性を共有できるという発信を、自信を持って進めていただきたい。</p> <p>情報発信の話もありましたが、やり方が重要です。フェイスブックで公募するのがいいというのもありました。こういうことも含めて、普段公民館に足を運ばない人に目を留めていただけるような「公民館だより」などのあり方や書き手を広げていく工夫が必要だと思えます。</p> <p>公民館がアイデアを出して、公民館の魅力を高めていくための活力ある活動を追求していくことが、結果的には層の厚い担い手を結集していくことになると思えます。</p> <p>佐藤先生、出された意見を整理していただきまして、ありがとうございました。</p> <p>今回の議題については、公民館運営審議会としての意見を示したいと思っています。本日は時間もありませんので、次回の会議で最終的に取りまとめたいと思えます。本日の発言と議論と佐藤先生にまとめていただいたものを整理して、次回に方向性と、具体的な取り組みについてまとめていきたいと思えます。皆さん、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同 委員長 事務局 委員長</p>	<p>(一同了承)</p> <p>それでは、これで議事は終了いたします。議事の「その他」はありますか。特にございません。</p> <p>本日はいろいろなご意見や提案をいただき、前回までと違い、意見交換だけではなく、まとめるための議論ができたかなと思えます。</p> <p>館長各位には、まとめた結果だけではなく、本日の議論の過程も参考にさせていただき、公民館の事業に生かしていただければと思えます。よろしく願います。</p> <p>それでは、本日の議題は、これで終了とします。</p> <p>では、次に報告事項をお願いします。</p>
<p>事務局 委員長 課長</p>	<p>10月16日・17日に熊谷で開催された公民館研究集会の全国大会には、多くの委員の皆さんに参加していただきました。ありがとうございました。</p> <p>ご参加いただいた委員につきましては、公民館活動に関わるそれぞれの場で生かしていただければと思えます。</p> <p>それでは、これで報告事項は終了とします。</p> <p>議事と報告事項は終わりましたので、進行を事務局に戻します。</p> <p>委員長、議事進行ありがとうございました。</p>

(事務連絡)

5 閉会

以上をもちまして、第2回公民館運営協議会を終了とさせていただきます。
ありがとうございました。